



県立三本木農業高校相撲部の選手たちと山崎監督

写真配置場所 名前 (学年)	①出身校②最近気になること・マイブーム ③相撲を始めたきっかけ④十和田大会に向けての意気込み・一言
前列右 深沢 智樹さん (3年)	①木ノ下中学校②大相撲で1人死んだ人がいること③いところが相撲をやっていたから④緊張をしないで、自分の相撲をとりたい。応援よろしくお願いします。
前列中央 川崎慎太郎さん (3年)	①六戸中学校②スポーツニュース③町内の相撲大会に参加して④決勝リーグにあがること。応援よろしくお願いします。
前列左 斗沢 圭佑さん (2年)	①十和田中学校②年金問題③兄がやっていたので④優勝わくてベスト4。絶対勝ちます。
後列中央 寺林 元気さん (2年)	①木ノ下中学校②特になし③小学生のとき、近所の神社の大会で自分より体の小さい子に負けたから④優勝目指して頑張ります。頑張ります!!
後列左 円子 正範さん (1年)	①六戸中学校②特になし③兄がやっていたので④入賞できるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

第37回全国中学校相撲選手権大会

中学生に広く相撲競技を体験させ、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかるために開催します。全国から48校が参加する予定です。

とき 8月18日(土)・19日(日)
18日 午前9時～開会式
ところ 市相撲場



問い合わせ先 第37回全国中学校相撲選手権大会実行委員会
(三沢市立堀口中学校内 ☎⑤4499)

第56回

選抜高校相撲十和田大会

全国から選抜された40校が真紅の優勝旗を目指す!

高校と大学の全国大会が行われる本市では、各参加校の状況と大会予想について、地元関係者から情報をいただきました。

第56回選抜高校相撲十和田大会

昨年度の十和田大会では、数年ぶりに決勝トーナメント1回戦を突破したもののベスト8で敗れてしまいました。昨年度の主力選手3人が卒業し、本年度は新たなメンバーで大会へ臨むことになります。昨年10月に盛岡市で行われた東北新人大会では団体優勝、今年6月に岩手県山田町で行われた東北選手権大会でも団体優勝を決めるなど、新人メンバーでも三農相撲部の歴史に名を残そうと必死に努力しています。地元十和田大会では、ここ数年、納得のいく結果を出すことができず歯がゆい思いをしていますが、常に今年こそはという気持ちを持ち続け、生徒とともに頑張っています。

近年、埼玉栄高校や鳥取城北高校といった私立高校を筆頭に大会が繰り広げられていますが、なんとか上位入賞を目標に頑張りたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

青森県立三本木農業高校 相撲部監督 山崎邦彦



昨年の相撲の取り組み写真

過去3全国大会の成績一覧表

弘前大会 団体	個人
1 埼玉栄高校	1 佐久間 (埼玉栄)
2 報徳学園高校	2 鳥子 (報徳学園)
3 鳥取城北高校	3 橋本 (報徳学園)
3 会津農林高校	3 山口 (鳥取城北)

新人選手権 団体	個人
1 報徳学園高校	1 佐久間 (埼玉栄)
2 明德高校	2 丹野 (金沢農)
3 文徳高校	3 山口 (鳥取城北)
4 埼玉栄高校	3 石浦 (鳥取城北)

金沢大会 団体	個人
1 埼玉栄高校	1 佐久間 (埼玉栄)
2 東洋大牛久高校	2 山口 (鳥取城北)
3 明德高校	3 七戸 (五農)
3 報徳学園高校	3 荒木関 (金沢市立工)

とき 8月15日(水) 午前8時30分から

ところ 市相撲場

入場料 前売り券 1,000円 当日券 1,500円
(高校生以下無料)

前売り券は、総合体育センター、市内各スポーツ店、市役所生協売店にて発売中。高校相撲の前売り券および当日券の抽選用ラッキーナンバーで、すてきな景品が当たります。

問い合わせ先 スポーツ青少年課 (☎⑤5111内線6531)

第56回選抜高校相撲十和田大会予想

全国各地から選抜された40校による優勝争いが繰り広げられる。今大会には2月の全国弘前大会、3月の全国新人選手権大会、5月の全国金沢大会で上位入賞したチームのほとんどが出場する。本県勢は、東北大会を制した地元の三農、準優勝の五農、弘実、八戸水産も上位進出が大きい期待できる。

優勝争いは埼玉栄と前年度優勝の報徳学園を中心に展開されることは必死。鳥取城北そして愛工大名電、また加茂水産、三農も優勝争いにどこまで加わることができるか地元ファンにとっては目が離せない。

【団体戦】

弘前大会、金沢大会を制した埼玉栄(埼玉県)は、高校ナンバーワンの実力者の佐久間(3年)を中心としてメンバー全員が個人戦優勝を狙える力を持っており大本命といえる。そして、昨年優勝の報徳学園(兵庫県)は、全国新人大会を制し、弘前大会2位、金沢大会3位と安定している。この2校が優勝争いの核となる。続くのは、弘前大会3位で、昨年高校横綱山口を擁する鳥取城北(鳥取県)、また愛工大名電(愛知県)、鹿児島商業(鹿児島県)、鳥羽(京都府)、加茂水産(山形県)の実力校が顔をそろえ、上位進出が期待される。

迎え撃つ県勢は、金沢大会個人3位の七戸を中心とする五所川原農林、また地元三本木農業は、東北選手権優勝そして全国大会でも上位進出を果たし優勝争いに加わる実力を備えており大いに期待できる。

【個人戦】

弘前大会、全国新人選手権大会、金沢大会の3大会連続個人優勝の佐久間(埼玉栄)は安定しており、今大会も優勝候補筆頭である。対抗するのは昨年高校横綱山口(鳥取城北)、過去3大会ですべて3位入賞を果たしている。そして、昨年度本大会優勝の李、宇佐大会優勝の鳥子、弘前大会3位橋本の報徳学園勢を中心とした優勝争いとなるのは確実である。

東北勢では、東北大会を制した小野寺(加茂水産)、全国新人大会2位の丹野(金足農)、薄(会津農林)そして、金沢大会3位の七戸(五農)、荒屋、工藤(八戸水産)は東北大会で活躍、地元三農勢は、昨年インターハイ、国体入賞の戸来と前田は東北優勝と十分に優勝争いに絡む力をもっており、上位進出が大きい期待できる。

青森県高体連相撲専門部委員長 円子昭浩

日本学生相撲連盟から選抜された12校が激突!

第42回

全日本大学選抜相撲十和田大会

とき 8月16日(木) 午前9時から

ところ 市相撲場

入場料 前売り券 1,500円 当日券 2,000円
(高校生以下無料)

第42回全日本大学選抜相撲十和田大会予想

【団体戦】

各大学とも昨年度の4年生が抜け、大幅にメンバーが入れ替わっている。中でも東洋大学、日本体育大学の2校が昨年とはほぼ変わらないメンバーで編成され、安定した力で上位に定着している。

今年春先からの成績を見ると、東3強(日本大学、東洋大学、日本体育大学)、西1強(近畿大学)、この4校がほぼ上位を占めており本大会も優勝争いの有力校である。

中でも日本大学は、ほぼ一新したメンバーで本大会3年連続23回目の優勝を目指し、宇和島大会、九州大会、東日本大会と優勝しており、本命である。

続くのが県出身者で固めた近畿大学で、宇佐大会では優勝こそ逃したが、日本大学に勝っている。また、日本体育大学も宇佐大会で優勝するなどあなどれない。

そのほか35年ぶりに東日本大会3位入賞の早稲田大学、さらに平成14年に創部し、本大会初出場の九州情報大学は、投げの強いモンゴル出身の2人が主力であり、昨年高校相撲十和田大会の土俵を沸かせた小兵の鳥子(報徳学園出身)が、大学で成長しているかなど見どころは尽きない。

各大学とも夏合宿でより一層力をつけており、目の離せない激戦が期待される。

【個人戦】

優勝争いの中心となるのが巨漢の深尾(日本大学4年)、昨年末に学生選手権3位、アマチュア選手権3位、今年も九州大会2位と優勝こそないが常に上位に入っている。

対抗として、東日本大会優勝・宇佐大会2位の宮本(日本体育大学3年)、宇和島大会優勝の高田(駒澤大学4年)、西日本大会優勝の杉山(五所川原商卒-近畿大学3年)、西日本選抜大会優勝の堀(近畿大学4年)らがあげられる。

そのほか近畿大学3年の青木、日本大学1年の佐久間、東洋大学4年の益子、東京農業大学4年の中田・森、日本体育大学2年の立野らの実力者がそれに続く。

県勢では高知大会3位の山中(五所川原農林-近畿大学3年)、東日本大会3位の相坂(三本木農業卒-専修大学3年)、三浦(五所川原農林-近畿大学4年)らが実力をつけてきており楽しみである。

上十三相撲連盟 森 一仁